



## ■基礎データ

| タイトル          | 緊急地震速報を聞いた時の行動を振り返る  |      |
|---------------|--|------|
| ねらい<br>(学習目標) | 1. 実践訓練での自分の対応を振り返る<br>2. 緊急地震速報を聞いた場合の適切な行動を確認する<br>3. 地震時に身を守ることの必要性を学ぶ  |      |
| 対象学年          | 高等部（軽度障害）  |      |
| 教科・イベント等      | 緊急地震速報による対応行動訓練（事後学習）  |      |
| 学習形態          | 個人（ワークシート）→全員（記入したワークシートの発表）   | 計20分 |
| 準備            | ワークシート「訓練をふりかえろう!」、ステップ1の資料を資料、参考資料（緊急地震速報リーフレット「クレヨンしんちゃん版」）※気象台ホームページを参照 |      |

## ■学習の流れ

| 構成・学習活動の内容                                       | 指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）  |
|--|--|
| 導入・展開1（1分）                                       |  |
| 1. 実践訓練での自分の対応を振り返る<br>1-1. 実践訓練での自分の対応を振り返る（1分） | 「今日は、前回学習したことを思い出して、緊急地震速報を利用した対応行動訓練をしました。自分で考えて身を守ることができたのか、どのように身を守ったのか、これから振り返ります。」<br>※ワークシート「訓練をふりかえろう!」を配布<br><br>「日本は地震大国です。皆さんも地震の揺れを経験していると思いますが、大地震によってどのような被害が起こるのでしょうか。」<br>※過去に発生した地震（東日本大震災、阪神・淡路大震災等）について、写真等を見せながら被害をイメージさせる。 |
| 展開2（17分）   |  |
| 2. 緊急地震速報を聞いた場合の適切な行動を確認する<br>2-1. ワークシート1番（3分）  | 「プリントの1番を見て下さい。今日の訓練について、①から④まで4つの質問があります。自分に当てはまるところに丸を付けて下さい。」<br>※低学年は、一つずつ問題を読みながら丸を付けさせてもよい。  |
| 2-2. ワークシート2～3番（5分）                              | 「次に、プリントの2番に、訓練が始まった時にいた場所を書いて下さい。3番には、その場所で、どのように身を守りました。上の断には、どのように身を守ったのか書いて下さい。点線から下の段には、なぜ、そのような行動をとったのか理由を書いて下さい。」   |
| 2-3. 個人ごとに発表する（7分）                               | 「では、何人かに発表してもらいます。2番と3番について、皆さんのとった行動を教えてください。」<br>※黒板に意見をまとめる。<br>※自分の意見以外は、赤や青鉛筆で記入させる。<br>※児童の質問には随時応じるが、児童間の相談はさせない。   |
| 2-4. まとめ（2分）                                     | 「それでは、地震から身を守るために大切なことを復習します。緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時、その場でどのような危険が起こるのかを自分で考える（判断する）ことが大切です。地震の時には、①上からものが落ちてこない、②横からものが倒れてこない、③横からものが動いてこない、が合言葉です。安全な場所を探して避難（移動）することが大切です。」<br>※地震の際に起こる、物の動きを理解させる。  |



|   |  |
|---|--|
|   | <p>「もう一つ大切なことがあります。緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時には、どこにいても慌てずに自分で考えて行動することが大切です。いつも、近くに先生や大人がいるとは限らないからです。」<br/>※自分で判断して行動することを理解させる。</p>  |
|   | <p>「緊急地震速報を聞いた時、自分の回りに小さい子やお年寄りがいたらどうしますか。地震がきます、身を守って下さい。と言えるといいですね。これは、たくさんの人が集まった場所でも同じです。」<br/>※高学年は、低学年への声かけに気づかせる。<br/>※集団の中で行動を起こすまで時間がかかる（心理バイアス）。</p>   |
| <p>まとめ(2分)</p>  |  |
| <p>3. 地震時に身を守ることの必要性を学ぶ<br/>3-1. 地震時に身を守ることの必要性を学ぶ (2分)</p> | <p>「今日は学校にいる時の訓練でしたが、地震はいつどこで起こるかわかりません。日本は地震大国なので、登下校中、家で留守番している時、塾にいる時、家族と買い物に出かけている時、車や電車に乗っている時など、いろいろな場面で大地震に遭遇するかもしれません。」</p> <p>「今日の訓練は、緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時、自分の身(命)は自分で守る力を身に付けるための訓練です。」</p> <p>「学校の外にいても、緊急地震速報を聞いた時や地震の強い揺れを感じた時には、今日の訓練を思い出し、自分の判断で身を守る行動をとって下さい。」<br/>※学校の外でも同じ行動をとる必要性を理解させる。</p> <p>「今日の訓練は、家族にも教えてあげましょう。緊急地震速報を聞いた時や地震の揺れを感じた時には、どのように行動したらよいか、家族で話しあってみて下さい。」<br/>※家族で話しあわせることにより、保護者の意識向上を図る。</p> |

■評価ポイント

- |  |
|--|
| 1 ワークシートに記入することで実践訓練時の自分の対応を振り返ることができたか    |
| 2 事前学習・実践訓練・事後学習を通して、地震時の適切な対応行動を学ぶことができたか |

■特記事項

- |  |
|--|
| ・本指導案は、学習指導要領に沿った内容ではなく、緊急地震速報を利用した訓練の振り返りを現している |
| ・緊急地震速報の原理などの「理科学習」につなげることができる                   |